

▼タイサブリ点滴静注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 ナタリズマブ (遺伝子組換え) Natalizumab (Genetical Recombination) 【分類】 多発性硬化症治療剤 [ヒト化抗ヒト α 4インテグリンモノクローナル抗体]

【単位】 ▼300mg/V [15mL]

【常用量】 1回 300mg を 4週に 1回

【用法】 1時間かけて点滴静注 [希釈液を約 2mL/分の速度]

■生食 100mL に希釈、激しく振とうしない ■投与終了後生食でフラッシュ

【透析患者への投与方法】 常用量 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (1)

【特徴】 ヒト化抗 α 4インテグリンモノクローナル抗体。 α 4 β 1インテグリンと VCAM-1 との相互作用を阻害することにより、炎症性組織への免疫細胞の動員を阻害して多発性硬化症の病巣形成を阻止すると考えられる。

【主な副作用・毒性】 進行性多巣性白質脳症、感染症、過敏症、肝障害、めまい、頭痛、消化器症状、鼻咽頭炎、尿路感染、脱毛、関節痛、発疹など

【安全性に関する情報】 急性網膜壊死のため眼症状をモニターする (1)

【代謝】 不明 (1) イムノグロブリンの代謝経路をたどると推測 (5)

【排泄】 イムノグロブリンの代謝経路をたどり排泄されると推測 (5)

【t1/2】 365hr (1)

【Vd】 3.5L/man (1)

【MW】 146178.16

【透析性】 分子量が大きく透析性は低いと思われる (5) 血漿交換により除去できるが、薬効を消失させるには複数回施行する必要があると思われる (1) 血漿交換は白血球機能リバースに有効 (Khatri BO, et al: Neurology 2009 PMID: 19188571)

【O/W 係数】 資料なし (1)

【相互作用】 ワクチン接種に対する応答が不明で、生ワクチンによる二次感染が否定できない (1)

【主な臨床報告】 多発性硬化症でのレビュー (McCormack PL: Drugs 73: 1463-81, 2013 PMID: 23912625)

【更新日】 20230513

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。